

平成29年度第3回羽幌町社会教育委員会議

並びに羽幌町公民館運営審議会会議記録

- 1 日 時 平成30年2月23日（金曜日）
午後6時30分から午後7時10分
- 2 場 所 羽幌町中央公民館 3階会議室
- 3 出席者 大長 司、小国美恵子、冨田正夫、宮下裕加、本間範子
小山由美子、立花充人、西村教子、山田 守

欠席者 永沼慧久男、松森克彦、工藤俊也、鈴木真一
- 4 説明のために出席した事務局職員
社会教育課長 渡辺博樹、社会教育係長 高橋 司
図書係長 春日井寿美子
- 5 記 録
 - (1) 平成29年度社会教育事業経過報告について
議案資料2～5頁のとおり（事務局より報告）
 - (2) 平成29年度羽幌町文化賞体育賞、羽幌町青少年文化賞スポーツ賞について
当日配布資料のとおり（事務局より報告）
表彰式を3月5日（月）午後6時30分から中央公民館で開催予定。
羽幌町文化協会賞、羽幌町体育協会スポーツ賞と同日開催のため、各受賞者について、参考資料を配布。
 - (3) 平成30年度予算（臨時費）について
議案資料7～8頁のとおり（事務局より報告）

【主な意見等】

（平成30年度臨時費予算関係）

委 員：大ホール照明設備更新工事について、金額（6,400万円）も大きいことから、詳しく説明してほしい。

事務局：今年度の照明操作卓更新に引き続き、心臓部である主幹盤・調光盤の更新工事と併せてスポットライトの更新工事を行うもの。

また、一カ月程度の工事期間を要するため、大ホール貸館の利用が少ない8月に工事を予定している。

(その他)

委員：スキー場のリフト使用料は、年間どのくらい収入があるのか。

委員：スキー場の利用者が少ない、いつも同じ顔ぶれである。

利用者増のため、リフト使用料の無料化等、考えてみてはどうか。

事務局：リフト使用料は、平成28年度収入で、270万円ほど。スキー場オープン時の平成10年度と比較すると約3分の1になっている。

また、利用者も少子高齢化や全国的なスキー離れ等で、年々減少しているが、スキー授業でも使用しているスキー場である。(学校授業では、リフト使用料を無料又は減免にしている)

事務局：リフト使用料の子ども料金無料化については、平成27年度に検討したが、無料化にしてもスキー利用者の増加が見込めるのかどうか。

子どもたちがスキー場に親しむような運営や仕掛け等工夫し、増加を図る方向で検討するとして、現行料金のままとした経緯がある。